

100歳おめでとうございます!

100歳を迎えられた坂川登美子さん(昭和町)、清水志げさん(南方)を町長が訪問し、バラの花束や果物などお祝いの品を贈りました。



坂川さんは、若い頃は大変多趣味で、書道や三 味線、俳句、お茶などをたしなまれたそうです。ご 自宅には、趣味の中でも1番長く続けた書道の作 品や、ご自身の句集が飾られていました。

坂川さんは「100歳だなんて信じられません。神戸で100年いられて幸せです」と笑顔で話されました。



清水さんは、畑作業や手芸がご趣味。畑作業には大変精を出され、つい最近まで野菜作り等を楽しまれていたそうです。手芸の中でも編み物は現在でも続けておられ、人形の服を作ってみえます。

町長からのお祝いの言葉に「お忙しいところお祝い に来ていただき、ありがとうございます」とお元気に 話されました。

学校医として長年尽力され県教育委員会から表彰



岐阜県教育委員会表彰を受けたまちだ眼科医院長の町田崇史さん(末守)の表彰伝達が行われ、宇野教育長から表彰状が授与されました。町田さんは、平成11年より21年間に渡り、町内小中学校の学校医(眼科)として尽力されています。

町田さんは、「最近の子どもたちの目の様子を見ると、スマホやゲーム機の影響で目を悪くしている子が多いです。スマホを使用したりゲーム機で遊ぶ際は、明るい部屋で時間を区切るなどして目の健康に気をつけてほしいです」と話されました。

9月 1日

ライオンズクラブから楽器を 寄贈いただきました!

池田・神戸、美濃大野、本巣、揖斐川の4つのライオンズクラブ(LC)から神戸中学校吹奏楽部に教育振興のため、「ホルン」と「ドラムセット」を、ご寄贈いただきました。

4LC代表の伊藤直人さんは「新しい楽器を活用して部活動に励んでほしい」と話され、楽器を受取った吹奏楽部長の池田桜さん(中3)は「ライオンズクラブの皆さんに感謝し、残りわずかな部活動を最後までやりきりたい」と述べました。



8月 **31**日

「特設公衆電話の設置等に関する覚書」を締結



町と西日本電信電話株式会社岐阜支店は、「特設公衆電話の設置等に関する覚書」を締結しました。これにより、災害時には指定避難所に被災者が無料で使用することができる特設公衆電話が設置されます。またこれは災害時優先電話であるため、通信制限があってもつながりやすいという特徴があります。

同社の児玉美奈子支店長は「町と連携を密にして、災害時にこそ町民のみなさんのお役に立てれば」と話されました。

9月 **2**日

「災害時における物資供給に関する協定」を締結

町と株式会社ギフパッキングは「災害時における物資供給に関する協定」を締結しました。この協定により、大規模災害が発生した際には、同社から避難所で必要となる段ボールベッドやパーテーションなどの物資を優先的に供給していただきます。

代表取締役の山田誠さんは、「今回の協定を 災害時の町民の皆さんの安心につなげたい。こ の協定は地域貢献の良いきっかけになる」と話 され、町長は「避難所環境を向上する協定であ り、とても心強い」と述べました。



9月

いざという時に備えて「自主防災組織リーダー研修会」



各区長や防災士など約100名を対象に「自主防災組織リーダー研修会」を中央公民館で開催しました。今年の研修では8月に更新された洪水ハザードマップをもとに、平成28年作成のものとの変更点や、コロナ禍における避難所運営についての説明を行いました。

区長会長の音無強さん(栄町区)は「地域においても高齢化が進んでいるので避難の仕方が心配である。そのためにも洪水ハザードマップを活用し、いざという時に早めの対応ができるよう日頃から皆で備えていきたい」と話しました。